

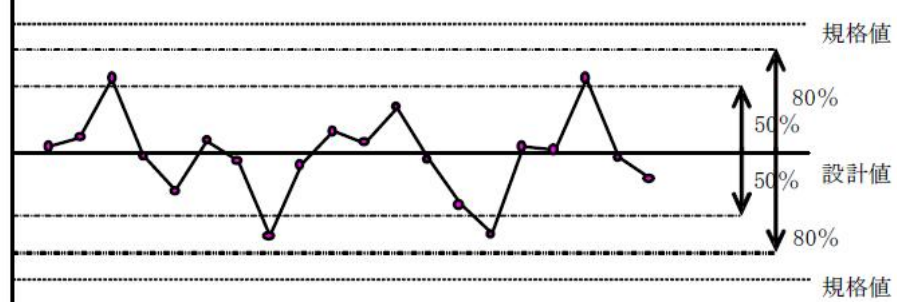
別表第 1 請負工事成績評定考査項目別採点基準運用表

2 施工状況 (土木工事関係) (検査員用 1 / 18)

項 目	細 別	A	B	C	D	E
2 施工状況	①施工管理	+5.0	+2.5	0	-5.0	-10
	該当 評価 ☐ 施工計画書が現場着手に先立ち提出され、所定の項目が記載されている。 ☐ 施工計画書が設計図書の内容及び現場条件を反映したものとなっている。 ☐ 現場条件又は計画内容に変更が生じた場合、その都度当該工事着手前に変更計画書を提出していることが確認できる。 ☐ 監督員等（発注者）密接な連携体制を構築し、施工管理が行われたことが確認できる。 ☐ 品質確保のための対策など施工に関する独自の工夫がみられる ☐ 材料搬入時に品質・規格等を確認し、適切な方法で保管している。 ☐ 見本または工事記録写真等の整理に工夫がみられる。 ☐ 立会確認の手続きが事前になされ、適切に実施されている。 ☐ 工事記録の整備が適時、的確になされている。 ☐ 現場環境改善等について独創的な取り組みを積極的に実施していることが確認できる。 ☐ 防塵・騒音対策等周辺環境に適切に対応している。 ☐ 過積載防止について、対策への積極的な取り組みと日常の実施状況を確認できる。 ☐ コリンズの登録及び変更が適正に行われていることが確認できる。 ☐ 作業分担と責任の範囲が書面で確認できる。 ☐ 施工体制台帳の添付書類がもれなく整備されている。 ☐ 下請業者に施工体制台帳作成現場の文書通知及び現場掲示を行っていることが確認できる。 ☐ 施工体系図が公衆の見やすい場所及び現場の見やすい場所に掲示されており、下請を含む建設業許可票が公衆の見やすい場所に掲示されていることが確認できる。 ☐ 品質証明体制が確立され、社内検査員による関係書類、出来形、品質等の確認を工事全般にわたって行っていることが確認できる。 ☐ 工事の関係書類及び資料整理がよい。 ☐ その他：_____ 該当項目の内達成度が 95%以上 ……A 該当項目の内達成度が 80%以上 95%未満 ……B 該当項目の内達成度が 80%未満 ……C ※該当項目が 2 項目以下の場合は C 評価とする。	☐ 監督職員が文書による改善指示を行った。	☐ 監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。			
	該当チェック欄 ☐ がないものは必須項目とする 以下同様					

別表第1 請負工事成績評定考査項目別採点基準運用表

3でき形及び品質 (土木工事関係) (検査員用2/18)

項 目	細 別	A (+10)	B (+5.0)	C (0)	D (-10)	E (-20)
3 でき形及び品質	①出来形	☐ 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内で、下記の「評価対象項目」の8項目以上が該当する。	☐ 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内で、下記の「評価対象項目」の5項目以上が該当する。	☐ 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、A及びBに該当しない。	☐ でき形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	☐ でき形の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。
		評価対象項目 ※概ねとは、上下限値の範囲の中に全点8割以上収まっていること。 ☐測定項目、頻度、方法が適切に計画され管理されている。 ☐社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。 ☐出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図及び出来形管理表を創意工夫していることが確認できる。 ☐出来形測定において、不可視部分が写真で的確に判断出来る。 ☐写真管理基準の管理項目を満足している。 ☐出来高値について確認出来る記録・資料等が整っている。 ☐出来高数量の算出根拠は、整理されている。 ☐出来形管理基準が定められていない工種について、監督職員と協議の上で管理していることが確認できる。 ☐その他： _____ 1. 出来形及び品質のばらつきの考え方 ①上限値のない場合は、下限値と同様な値があると仮定 ②舗装現場密度を評定する場合、基準密度の100%を中央値(下図における「設計値」とし、下限値(規格値)との範囲で50%及び80%を設定し判断) ※ばらつきが「50%以下」と判断できる例  2. 多工種複合工事の場合 ①主たる工種で評定する。なお、多工種で評定対象が重要な場合はこの限りではない。				

別表第1 請負工事成績評定考査項目別採点基準運用表

3でき形及び品質 (土木工事関係) (検査員用3／18)

項 細 目 別	工 種	A		B	C	D	E	
3でき形及び品質 ②品質	道路改良工事	+10		+5	0	-10	-20	
		該当	評価 □材料の品質規格証明書等が整備され、設計図書の品質を満足していることが確認できる。 □設計図書で定められている品質管理試験が適切に実施され記録が整理されている。 □雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。 □段切り等が施工前に適切に行われている事が確認できる。 □流用盛土材の試験等を行っていることが確認できる。 □路床の支持力に自主的な試験等によって均等性が有ることの確認が出来る。 □路床部を乱さないように掘削していることが確認できる。 □置換えのための掘削を行うにあたり、掘削面以下を乱さないように施工していることが確認できる。 □一層あたりのまき出し厚を管理していることが確認できる。 □締固めを適切な条件で施工していることが確認できる。 □張芝等または種子吹付等を適切に行っていることが確認できる。 □構造物周辺の締め固め等の処理が適正に行われていることが確認できる。 □土羽土の土質が適正であることが確認できる。 □有害なクラックや損傷部がないことが確認できる。 □盛土に際し、適切に伐開・除根・除草が行われていることが確認できる。 □完成構造物について、規格値を満たしている。 □品質管理及び記録に創意工夫が見られる。				□品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	□品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。
		□	□その他：				該当項目の内達成度が、 95%以上→A 80%以上 95%未満→B 80%未満→C ※該当項目が2項目以下の場合はC評価とする。 左記の評価に関わらず下記の事項に該当した場合 CDEにより評価する。 □完了検査等において、現場代理人及び主任技術者の品質に関する説明等が不十分な場合。 □提出書類の追加・手直しの指摘を受けた場合。	

項 細 目 別	工 種	A		B	C	D
3でき形及び品質 ③出来ばえ	道路改良工事	+10		+5	0	-10
		該当	評価 ☐ 仕上げが良い ☐ 通りがよい ☐ 植生、吹付等の状態が均一である。 ☐ 端部処理が良い ☐ 構造物へのすりつけ等が良い ☐ 全体的な美観が良い ☐ 維持管理等の配慮が良い ☐ 出来ばえに関し、創意工夫及び熱意が見られる	該当項目の内達成度が、 90%以上→A 70%以上 90%未満→B 50%以上 70%未満→C 50%未満→D ※該当項目が2項目以下の場合はC評価とする。 左記の評価に関わらず下記の事項に該当した場合CDにより評価する。 ☐ 完了検査等において、現場代理人及び主任技術者の出来ばえに関する説明等が不十分な場合。 ☐ 提出書類の追加・手直しの指摘を受けた場合又は軽微な手直しを要する場合。		

別表第 1 請負工事成績評定考査項目別採点基準運用表

3 でき形及び品質 (土木工事関係) (検査員用 4 / 18)

項目 細別	工 種	A		B	C	D	E
3 でき形及び品質 ②品質	舗装工事	+10		+5	0	-10	-20
		該当	評価 □材料の品質規格証明書等が整備され、設計図書の品質を満足していることが確認できる。 □設計図書で定められている品質管理試験が適切に実施され記録が整理されている。 □完成構造物について、規格値を満たしている。 □品質管理及び記録に創意工夫が見られる。 □路床土の中の有害物、及び不良箇所は取り除かれていることが確認出来る。 □路床の密度、支持力の管理が適切に行われていることが確認できる。 □路盤の施工に先立って、路床面、凍上抑制層の浮き石及び有害物を除去してから施工していることが確認できる。 □路盤材の品質規格が仕様書通りで、かつ現場に搬入された材料の試験成績表が整理されている。 □下層路盤工の密度管理等が適切に行われていることが確認できる。 □路床盛土・凍上抑制層・路盤工及びアスファルト舗装工において、構造物の隣接箇所や狭い箇所における締固めが、タンパ等の小型締固め機械により施工していることが確認できる。 □舗装工の施工にあたって、上層路盤面の浮き石などの有害物を除去していることが確認できる。 □アスファルト乳剤は細部まで丁寧に散布し、舗設前に養生砂を掃き取っていることが確認できる。 □気象条件等に適した混合物の運搬方法、舗設作業（締固め等）の配慮が行われていることが確認できる。 □適正温度で舗設作業及び交通解放が行われていることが確認出来る。 □舗設作業条件（雨天、気温等）は守られている。 □既設部とのすり付けが適切に行われている。 □コア採取により厚さ・密度の管理が適切に行われていることが確認出来る。 □排水工等の施工が、適切かつきめ細やかに実施されていることが確認出来る。 □その他の施工（植栽等）において、適切かつきめ細やかに実施されていることが確認出来る。 □道路付属物（縁石・柵・標識）などその他の復旧について、仕様書どおり施工されていることが確認できる □その他：_____				□品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。
						該当項目の内達成度が、 95%以上→A 80%以上 95%未満→B 80%未満→C ※該当項目が2項目以下の場合 はC評価とする。 左記の評価に関わらず下記の事項に該当した場合 CDE により評価する。 □完了検査等において、現場代理人及び主任技術者の品質に関する説明等が不十分な場合。 □提出書類の追加・手直しの指摘を受けた場合	

別表第 1 請負工事成績評定考査項目別採点基準運用表

3 でき形及び品質（土木工事関係）（検査員用 5 / 18）

項 細 目 別	工 種	A		B	C	D
3 でき形及び品質 ③出来ばえ	舗装工事	+10		+5	0	-10
		該当	評価 ☐ 全体的な美観が良い ☐ 舗装の平坦性が良い。 ☐ 構造物（縁石・柵・小土留・民地部）へのすりつけ等が良い。 ☐ 縦横断継目の処理が良い。 ☐ 柵類の上下部にずれがなく、目地処理が良い。 ☐ 雨水処理が良い。 ☐ 工事区域内の清掃がなされている。 ☐ 維持管理等の配慮が良い。 ☐ 出来ばえに関し、創意工夫及び熱意が見られる。 ☐ その他：_____			

該当項目の内達成度が、
90%以上→A 70%以上 90%未満→B 50%以上 70%未満→C 50%未満→D
※該当項目が 2 項目以下の場合は C 評価とする。

上記の評価に関わらず下記の事項に該当した場合 CD により評価する。
☐ 完了検査等において、現場代理人及び主任技術者の出来ばえに関する説明等が不十分な場合。
☐ 提出書類の追加・手直しの指摘を受けた場合又は軽微な手直しを要する場合。

別表第 1 請負工事成績評定考査項目別採点基準運用表

3 でき形及び品質 (土木工事関係) (検査員用 6 / 18)

項 細 目 別	工 種	A		B	C	D	E
3 でき形及び品質 ②品質	河川工事	+10		+5	0	-10	-20
		該当	評価 □材料の品質規格証明書等が整備され、設計図書の品質を満足していることが確認できる。 □設計図書で定められている品質管理確認が試験及び証明書等によりが適切に実施され記録が整備されている。 □品質試験結果及び証明書の記載内容が、設計図書及び承認を受けた品質規格内容に適合している。 □現場試験結果や出来形が設計図書の品質規格内容に適合している。 □河道断面及び計画築堤高さが設計値を満足していることが確認できる。 □根固工、沈床工、捨石工等において、材料の連結及びかみ合わせが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □連結ブロック等の布設展開図等が整備され単位面積重量が設計値を満足していることが確認できる。 □シート類の重ね合わせが、仕様書基準値を満足していることが確認できる。 □コンクリートブロック、石積み等の裏込め材転圧が端部まで入念に行われていることが確認できる。 □施工基面の整形が、平滑に仕上げていることが確認できる。 □掘り過ぎが無く施工していることが確認できる。 □コンクリートブロック等を損傷無く設置していることが確認できる。 □施工にあたって、床掘箇所の湧水及び滞水等は、排除して施工していることが確認できる。 □完成構造物について、規格値を満たしている。 □品質管理及び記録に創意工夫が見られる。。 □その他：_____				□品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。 該当項目の内達成度が、 95%以上→A 80%以上 95%未満→B 80%未満→C ※該当項目が2項目以下の場合はC評価とする。 左記の評価に関わらず下記の事項に該当した場合 CDEにより評価する。 □完了検査等において、現場代理人及び主任技術者の品質に関する説明等が不十分な場合。 □提出書類の追加・手直しの指摘を受けた場合。

項 細 目 別	工 種	A		B	C	D
3 でき形及び品質 ③出来ばえ	河川工事	+10		+5	0	-10
		該当	評価 □河川法線の通りが良く、全体的美観が良い。 □法面勾配が均一で仕上げが良い。 □護岸ブロックの仕上がり均一で通りが良い。 □河川断面と附帯構造物との通り、すりつけが良い。 □天端及び端部の仕上げが良い。 □構造物等の仕上げが良い。 □植生が均一で、活着状況が良い。 □全体的な美観が良い □出来ばえに関し、創意工夫及び熱意が見られる			
		該当項目の内達成度が、 90%以上→A 70%以上 90%未満→B 50%以上 70%未満→C 50%未満→D ※該当項目が2項目以下の場合はC評価とする。 上記の評価に関わらず下記の事項に該当した場合 CD により評価する。 □完了検査等において、現場代理人及び主任技術者の出来ばえに関する説明等が不十分な場合。 □提出書類の追加・手直しの指摘を受けた場合又は軽微な手直しを要する場合。				

別表第 1 請負工事成績評定考査項目別採点基準運用表

3 でき形及び品質 (土木工事関係) (検査員用 7 / 18)

項目細目別	工種	A		B	C	D	E	
3 でき形及び品質 ②品質	維持補修工事	+10		+5	0	-10	-20	
		該当	評価 □使用する材料の品質・形状等が適切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認できる。 □構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。 □監督職員の指示事項に対して、現地状況を勘案し、施工方法や構造についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。 □緊急的な作業において、迅速かつ適切に対応していることが確認できる。 □完成構造物について、規格値を満たしている。 □品質管理及び記録に創意工夫が見られる。				□品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	□品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。
		□	□その他：_____ 該当項目の内達成度が、 95%以上→A 80%以上 95%未満→B 80%未満→C ※該当項目が2項目以下の場合はC評価とする。 左記の評価に関わらず下記の事項に該当した場合 CDE により評価する。 □完了検査等において、現場代理人及び主任技術者の品質に関する説明等が不十分な場合。 □提出書類の追加・手直しの指摘を受けた場合。					

項 細 目 別	工 種	A		B	C	D
3 でき形及び品質 ③出来ばえ	維持補修工事	+10		+5	0	-10
		該当	評価 □全体的な美観が良い □構造物（縁石・柵・小土留・民地部）へのすりつけ等が良い。 □仕上げが良い。 □きめ細かな施工がなされている。 □端部（既設道路部）処理が良い。 □既設断面、現況とのすり付けが良い。 □表面水の処理が良い。 □維持管理等の配慮が良い。 □出来ばえに関し、創意工夫及び熱意が見られる。			
		該当項目の内達成度が、 90%以上→A 70%以上 90%未満→B 50%以上 70%未満→C 50%未満→D ※該当項目が2項目以下の場合はC 評価とする。 上記の評価に関わらず下記の事項に該当した場合 CD により評価する。 □完了検査等において、現場代理人及び主任技術者の出来ばえに関する説明等が不十分な場合。 □提出書類の追加・手直しの指摘を受けた場合又は軽微な手直しを要する場合。				

別表第 1 請負工事成績評定考査項目別採点基準運用表

3 でき形及び品質 (土木工事関係) (検査員用 8 / 18)

項 細 目 別	工 種	A		B	C	D	E	
3 でき形及び品質 ②品質	橋梁工事	+10		+5	0	-10	-20	
		該当	評価 □材料の品質規格証明書等が整備され、設計図書の品質を満足していることが確認できる。 □設計図書で定められている品質管理試験が適切に実施され記録が整備されている。 □鋼材・鉄筋の員数照合がミルシート等（現物照合を含む）で確認されている。 □溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行っている。 □塗装する面が乾燥状態であることが確認できる。（重ね塗りの場合も含む） □気温、湿度の条件が共通仕様書の制限を満足している。 □塗料の有効期限が確認できる。 □高力ボルト締付け検査記録票で保管していることが確認できる。 □杭に損傷及び補修痕がないことが確認できる。 □杭の打止め管理方法または場所打ち杭の施工管理方法等が整備され、かつ記録が整理されている。 □溶接の品質管理に関して仕様書に定められた事項が確認できる。 □杭頭処理が適正に処理されていることが確認できる。 □型枠、支保工の取り外し時のコンクリート強度、養生期間を適正に管理されている。 □鉄筋の引っ張り強度・曲げ強度が試験値で確認できる。 □完成構造物について、規格値を満たしている。 □品質管理及び記録に創意工夫が見られる。				□品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	□品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。
		□	□その他：_____				該当項目の内達成度が、 95%以上→A 80%以上 95%未満→B 80%未満→C ※該当項目が2項目以下の場合はC評価とする。 左記の評価に関わらず下記の事項に該当した場合 CDE により評価する。 □完了検査等において、現場代理人及び主任技術者の品質に関する説明等が不十分な場合。 □提出書類の追加・手直しの指摘を受けた場合。	

項 細 目 別	工 種	A		B	C	D
3 でき形及び品質 ③出来ばえ	橋梁工事	+10		+5	0	-10
		該当	評価 ☐全体的美観が良い。 ☐天端仕上げ、端部仕上げ、すり付け等が良い。 ☐部材表面に傷及び錆が無い。 ☐溶接・塗装に均一性がある。 ☐構造物の通りが良い。 ☐基礎杭の基準高・根入長・偏心量・杭径が規格値にある。 ☐表面水の処理が良い。 ☐維持管理等の配慮が良い。 ☐出来ばえに関し、創意工夫及び熱意が見られる 該当項目の内達成度が、 90%以上→A 70%以上 90%未満→B 50%以上 70%未満→C 50%未満→D ※該当項目が2項目以下の場合はC評価とする。 上記の評価に関わらず下記の事項に該当した場合 CD により評価する。 ☐完了検査等において、現場代理人及び主任技術者の出来ばえに関する説明等が不十分な場合。 ☐提出書類の追加・手直しの指摘を受けた場合又は軽微な手直しを要する場合。			

別表第 1 請負工事成績評定考査項目別採点基準運用表

3 でき形及び品質 (土木工事関係) (検査員用 9 / 18)

項 細 目 別	工 種	A		B	C	D	E	
3 でき形及び品質 ②品質	コンクリート構造物工事	+10		+5	0	-10	-20	
		該当	評価 □材料の品質規格証明書等が整備され、設計図書の品質を満足していることが確認できる。 □設計図書で定められている品質管理試験が適切に実施され記録が整備されている。 □コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質（強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等）が確認できる。 □コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。 □施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のバイブレータの機種、養生方法等、適切に行っている。（寒中及び暑中コンクリート等を含む。） □コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っている。 □鉄筋の規格がミルシートで確認できる。 □鉄筋の引っ張り強度・曲げ強度が試験値で確認できる。 □コンクリート打設までの鉄筋の保管管理が適正であることが確認できる。 □鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 □水平度、安全度、鉛直度等が確認できる。 □完成構造物について、規格値を満たしている。 □品質管理及び記録に創意工夫が見られる				□品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	□品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。
		□	□その他：_____				該当項目の内達成度が、 95%以上→A 80%以上 95%未満→B 80%未満→C ※該当項目が2項目以下の場合はC評価とする。 左記の評価に関わらず下記の事項に該当した場合 CDE により評価する。 □完了検査等において、現場代理人及び主任技術者の品質に関する説明等が不十分な場合。 □提出書類の追加・手直しの指摘を受けた場合。	

項 細 目 別	工 種	A		B	C	D
3 でき形及び品質 ③出来ばえ	コンクリート構造物工事	+10		+5	0	-10
		該当	評価 □全体的美観が良い。 □天端仕上げ、端部仕上げ、すり付け等が良い。 □構造物の仕上げが良い。 □構造物の通りが良い。 □構造物に影響を与えるクラックがない。 □基礎杭の基準高・根入長・偏心量・杭径が規格値にある。 □表面水の処理が良い。 □維持管理等の配慮が良い。 □出来ばえに関し、創意工夫及び熱意が見られる			
		該当項目の内達成度が、 90%以上→A 70%以上 90%未満→B 50%以上 70%未満→C 50%未満→D ※該当項目が2項目以下の場合はC評価とする。 上記の評価に関わらず下記の事項に該当した場合 CD により評価する。 □完了検査等において、現場代理人及び主任技術者の出来ばえに関する説明等が不十分な場合。 □提出書類の追加・手直しの指摘を受けた場合又は軽微な手直しを要する場合。				

別表第1 請負工事成績評定考査項目別採点基準運用表

3でき形及び品質 (土木工事関係) (検査員用10/18)

項目別	工種	A		B	C	D	E
3でき形及び品質 ②品質	上下水道工事	+10		+5	0	-10	-20
		該当	評価 ☐ 材料の品質規格証明書等が整備され、設計図書の品質を満足していることが確認できる。 ☐ 設計図書で定められている品質管理試験が適切に実施され記録が整備されている。 ☐ 完成構造物について、規格値を満たしている。 ☐ 品質管理及び記録に創意工夫が見られる。 ☐ フランジ接合部分が適正なトルクで締め付けられていることが確認できる。 ☐ 管接合の入り込み量、ボルト締付トルクのチェックシート等が規定通り提出されている。 ☐ 管、分岐、仕切弁等の防食被覆が適切に行われているのが確認できる。 ☐ ダクタイル鋳鉄管の切管の加工、防食、白線位置が適正であることが確認できる。 ☐ 管、割字の水圧試験結果が確認できる。 ☐ ダクタイル鋳鉄管からの分水には防食コアの挿入および適正なトルクでの締付が確認できる。 ☐ 分水部の防食被覆が適切に行われているのが確認できる。 ☐ 分水・止水栓・メーターきょう・管末等の現場見出し、及び曲管使用部がしゅん功図の表示に錯誤がなく見やすい。 ☐ しゅん功図と現場施工状況との対比が容易に確認できる。 ☐ 配水用ポリエチレン管の接合において、雨天時や地下水等の水対策が講じられていることが確認できる。 ☐ EF接合における、マーキングや溶融後の時間管理等一連の作業が、写真及び継手チェックシートにより確認できる。 ☐ 管渠（管・矩形渠、推進、シールド）が高精度で施工され、目立った屈曲や沈下がない。 ☐ 管路土工における床付面は、良好な仕上げとなっている。 ☐ 管渠に影響を与えるクラックや変形がなく、浸入水箇所がない。 ☐ 管渠、マンホール等の砂・碎石基礎において、敷均し及び転圧等が適切に行われている。 ☐ 管渠、マンホール等の基礎・躯体コンクリート及び鉄筋が、設計図書どおり適切に管理実施されている。 ☐ 管渠継手部において止水滑材や接着剤等のはみ出し等がない。 ☐ マンホールはクラック等がなく、連結部に止水シール・止水ゴムが適切に使用され、浸入水がない。 ☐ マンホールの足掛金物の位置や方向が適正で鉄蓋の設置にガタツキがなく、仕上がり天端高も適正である。 ☐ インバートの形状、勾配、表面仕上げが適切で、浸入水がない。 ☐ 柵類は傾きがなく設置され、取付管は理由のない屈曲がない。 ☐ 管渠内などに土砂、モルタル、材料の断片等がなく、清掃されている。 ☐ 掘削時の土留方法や、推進時の掘進方法による周辺地盤への影響が見られない。 ☐ 薬液注入工、高圧噴射攪拌工法が設計図書や施工計画書どおり施工されている ☐ その他：_____			☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。
			該当項目の内達成度が、 95%以上→A 80%以上 95%未満→B 80%未満→C ※該当項目が2項目以下の場合 はC評価とする。 左記の評価に関わらず下記の事項に該当した場合 CDE により評価する。 ☐ 完了検査等において、現場代理人及び主任技術者の品質に関する説明等が不十分な場合。 ☐ 提出書類の追加・手直しの指摘を受けた場合				

別表第 1 請負工事成績評定考査項目別採点基準運用表

3 でき形及び品質（土木工事関係）（検査員用 1 1 / 1 8）

項 目 別	工 種	A		B	C	D
3 でき形及び品質 ③出来ばえ	上下水道工事	+10		+5	0	-10
		該当	評価 ☐ 不可視部分の管の布設、接合、防食工等は、施工管理の記録等から出来ばえの良さがうかがえる。 ☐ 道路復旧は、平滑で沈下がなく、端部処理が良い。 ☐ 道路復旧後の表面水の処理が良い。 ☐ 全体的に美観が良い。 ☐ 仕上がりが良い。 ☐ 既設構造物のすりつけが良い。 ☐ ☐ 弁筐及び消火栓の位置、路面（舗装または地盤）との高さ合わせが良い。 ☐ ☐ 消火栓は打倒ボルト交換に必要な高さを確保している。 ☐ ☐ マンホールと管との接続状態が良い。 ☐ ☐ マンホールや柵の天端は周辺地盤に馴染んでいて、復旧の仕上がりが良い。 ☐ ☐ 出来ばえに関し、創意工夫及び熱意が見られる ☐ ☐ その他：_____			
			該当項目の内達成度が、 90%以上→A 70%以上 90%未満→B 50%以上 70%未満→C 50%未満→D ※該当項目が 2 項目以下の場合は C 評価とする。 上記の評価に関わらず下記の事項に該当した場合 CD により評価する。 ☐ 完了検査等において、現場代理人及び主任技術者の出来ばえに関する説明等が不十分な場合。 ☐ 提出書類の追加・手直しの指摘を受けた場合又は軽微な手直しを要する場合。			

別表第 1 請負工事成績評定考査項目別採点基準運用表

3 でき形及び品質 (土木工事関係) (検査員用 1 2 / 1 8)

項 細 目 別	工 種	A		B	C	D	E	
3 でき形及び品質 ②品質	公園工事	+10		+5	0	-10	-20	
		該当	評価 □材料の品質規格証明書等が整備され、設計図書の品質を満足していることが確認できる。 □設計図書で定められている品質管理試験が適切に実施され記録が整備されている。 □園路舗装の強度、使用材料の配合などを確認できる書類が整理されている。 □園路等の凍上抑制層及び路盤の転圧が適切に行われていることが確認できる。 □鋼製品の塗装厚及び材料の品質を確認できる書類が整理されている。 □遊戯施設等の機能と安全性が設計図書の条件を満足していることが確認できる。 □樹木は病虫害・損傷等が無く、保護養生が適切に行われていることが確認できる。 □張芝・吹付芝の施工に先立ち土壌硬度試験及び土壌試験（PH）を実施し施工に反映していることが確認できる。 □種子吹付け工は、設計図書に示す配合で均一に施工されていることが確認できる。 □完成構造物について、規格値を満たしている。 □品質管理及び記録に創意工夫が見られる				□品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	□品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。
		□	□その他：_____				該当項目の内達成度が、 95%以上→A 80%以上 95%未満→B 80%未満→C ※該当項目が2項目以下の場合はC評価とする。 左記の評価に関わらず下記の事項に該当した場合 CDE により評価する。 □完了検査等において、現場代理人及び主任技術者の品質に関する説明等が不十分な場合。 □提出書類の追加・手直しの指摘を受けた場合。	

項 細 目 別	工 種	A		B	C	D
3 でき形及び品質 ③出来ばえ	公園工事	+10		+5	0	-10
		該当	評価 □公共物としての安全、環境等への配慮がされている。 □施設、構造物の肌、通り、収まり等仕上げの状態が良い。 □設計意図を理解し維持管理もふまえた、きめ細かな施工がされている。 □表面排水や暗渠排水施設が効果的に配置されている。 □樹木及び地被類は形姿が良いものが使用され、損傷がなく生育状況が良い。 □全体的に美観が良い。 □出来ばえに関し、創意工夫及び熱意が見られる			該当項目の内達成度が、 90%以上→A 70%以上 90%未満→B 50%以上 70%未満→C 50%未満→D ※該当項目が 2 項目以下の場合は C 評価とする。 左記の評価に関わらず下記の事項に該当した場合 CD により評価する。 □完了検査等において、現場代理人及び主任技術者の出来ばえに関する説明等が不十分な場合。 □提出書類の追加・手直しの指摘を受けた場合又は軽微な手直しを要する場合。

別表第1 請負工事成績評定考査項目別採点基準運用表

2 施工状況（営繕工事関係）（検査員用 13／18）

項 目	細 別	A	B	C	D	E
2 施工状況	①施工管理	+5.0	+2.5	0	-5	-10
	該当	評価 ☐ 契約書18条に基づく設計図書の照査結果を、適切に処理していることが確認できる。 ☐ 施工計画書が、設計図書及び現場条件を反映した内容となっていることが確認できる。 ☐ 施工計画書に、出来形・品質確保のための記載があり、管理のための方法が確認できる。 ☐ 施工計画書の記載内容と現場施工方法が、一致していることが確認できる。 ☐ 工事記録の整備が、適切に行われていることが確認できる。 ☐ 使用する材料、機材の搬入後の管理が適切であることが確認できる。 ☐ 一工程の施工の確認の報告が、適切に行われていることが確認できる。 ☐ 建設廃棄物の処分及び建設副産物等のリサイクルへの取り組みが、適切に行われていることが確認できる。 ☐ 社内検査が計画的に行われ、出来形、品質等の管理を工事全般にわたって十分に行っていることが確認できる。 ☐ 独自のチェックリスト等の管理基準により、日常的に管理されていることが確認できる。 ☐ 工事の関係書類及び資料の整理がよい。 ☐ 施工体制台帳、施工体系図が整備されている。 ☐ その他：_____			☐ 施工状況に関して監督職員が文書による改善指示を行った。	☐ 施工状況に関して監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。
		該当項目の内達成度が95%以上 ……A 該当項目の内達成度が80%以上 95%未満 ……B 該当項目の内達成度が60%以上 80%未満 ……C 該当項目の内達成度が60%未満 ……D				

別表第 1 請負工事成績評定考查項目別採点基準運用表

3でき形及び品質（営繕工事関係）（検査員用14／18）

項 目	細 別	A	B	C	D	E
3 でき形及び品質	①出来形	+10	+5.0	0	-10	-20
	該当 評価 ☐承諾図・施工図等が、設計図書を満足していることが確認できる。 ☐施工計画書等で出来形の管理基準を設定し、計画に基づく管理を実施していることが確認できる。 ☐出来形の管理記録の整備が、良好であることが確認できる。 ☐出来形の管理方法が、工夫されていることが確認できる。 ☐現場における出来形が、設計図書を満足し、適切な施工であることが確認できる。 ☐現場における出来形が良好で、施工の精度が高い。 ☐解体又は撤去工事の場合、撤去対象物の範囲等が確認でき、適切な処分をしていることが確認できる。 ☐分別解体等の方法が、設計図書を満足し、適切な施工であることが確認できる。 ☐撤去対象物の数量等が確認でき、処分が適切であることが確認できる。 ☐施工計画書等で定めた管理基準に基づき、管理していることが確認できる。 ☐出来形の視認において、地中等の不可視部分となる出来形が、工事写真、施工記録により確認できる。 ☐解体施工等において、管理方法を工夫していることが確認できる。 ☐その他：_____				☐でき形の管理に関して監督職員が文書による改善指示を行った。	☐でき形が不適切であったため検査職員が修補指示を行った。
		該当項目の内達成度が 95%以上 ……A 該当項目の内達成度が 70%以上 95%未満 ……B 該当項目の内達成度が 50%以上 70%未満 ……C 該当項目の内達成度が 50%未満 ……D				

別表第 1 請負工事成績評定考查項目別採点基準運用表

3でき形及び品質 (営繕工事関係)

(検査員用 15/18)

項 細 目 別	工 種	A		B	C	D	E
3 でき形及び品質 ②品質	建築・解体工事	+10		+5	0	-10	-20
		該当	評価 □材料・製品の品質が、製作図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。 □施工の各段階における完了時の試験及び記録の方法が、適切であることが確認できる。 □材料の品質確認記録の内容が、適切であることが確認できる。 □品質の確認結果が、分かりやすく整理されていることが確認できる。 □施工の品質が適切であり、設計図書を満足していることが確認できる。 □建具、ユニット等の性能及び機能が設計図書を満足していることが確認できる。 □躯体工事における施工の品質が、施工記録等により、良好であることが確認できる。 □内外仕上げ工事における施工の品質が、施工記録等により確認でき、良好であることが確認できる。 □その他の工事（躯体・内外仕上げを除く）における施工の品質が、施工記録等により、良好であることが確認できる。 □不可視部分となる品質が、工事写真、施工記録により確認できる。 □中間技術検査や既済検査での工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。 □対象工事の分別解体等、計画内容について「発注者」への適切な説明がなされたことが確認できる □分別解体及び再資源化が適切に行われたことが確認できる。 □解体作業手順が施工計画書に基づいて安全に行われていることが確認できる。 □建設廃棄物処理の委託契約書及びマニフェストが適切に整備保管されている。 □再資源化等の完了確認及び「発注者」への報告が適切に行われたことが確認できる。 □積み・搬出等を含む各施工段階の状況が明確に判断できるよう、創意工夫を持って写真管理を行っている。 □振動、騒音、埃及び安全対策を講じるなど、隣接する住居等への配慮がされていることが確認できる。 □石綿の飛散防止対策（作業基準の遵守等規制措置）の徹底と実施内容を掲示していることが確認できる。 □ □その他： _____				□品質の管理に対し、監督職員が文書で指示を行い改善された。
工事比率： _____							
		工事比率の算出 当該工種金額 ÷ 請負工事金額 = % (請負金額 _____ 当該工種金額 _____ その他工種金額 _____) 評価 当該工種評価該当率% × 工事比率% + その他工種評価該当率% × 工事比率% = %				該当項目の内達成度が、 95%以上→A 70%以上 95%未満→B 50%以上 70%未満→C 50%未満→D ※該当項目が2項目以下の場合はC評価とする。	

別表第 1 請負工事成績評定考査項目別採点基準運用表

3 でき形及び品質（営繕工事関係）

（検査員用 1 6 / 1 8）

項 細 目 別	工 種	A	B	C	D
3 でき形及び品質 ③出来ばえ	建築・解体工事	+10	+5	0	-10
		該当 評価 ☐きめ細かな施工がなされている。 ☐全般的に仕上がりが良好である。 ☐関連工事(工種)又は既存部分との調整がなされ、調和が良い仕上がりにある。 ☐使用者の安全に対する配慮に優れている。 ☐使い勝手に対する配慮に優れている。 ☐建具、仕上ユニット等の仕上がりの状態が良好で、作動状態も良好である。 ☐色調が均一であり、色むら等が無く、全体的な仕上がりが良好である。 ☐材料・製品の割付や通り等が良く、全体的な出来ばえが良好である。 ☐壁や床、水勾配等の仕上がりの状態が良好である。 ☐外構や植栽等の全体的な仕上がりが良好である。 ☐保全に配慮した施工がなされている。 ☐隣接する住居等への配慮をし、周辺環境に影響を及ぼすことがなかった。 ☐清掃及び後片付けの状況がよい。 ☐解体後の土地の雨水排水等に適切な配慮がなされている。 ☐工作物等の仕上がりが良好である。 ☐整地の状態が良好である。 ☐維持管理に配慮した施工がなされている。 ☐その他：_____ □ 該当項目の内達成度が、 95%以上→A 70%以上 95%未満→B 50%以上 70%未満→C 50%未満→D ※該当項目が2項目以下の場合はC評価とする。 工事比率の算出 当該工種金額 ÷ 請負工事金額 = % (請負金額_____ 当該工種金額_____ その他工種金額_____) 評価 当該工種評価該当率%×工事比率%+その他工種評価該当率%×工事比率%= %			

別表第 1 請負工事成績評定考查項目別採点基準運用表

3でき形及び品質 (営繕工事関係)

(検査員用 17 / 18)

項 細 目 別	工 種	A	B	C	D	E
3 でき形及び品質 ②品質	電気・機械工事	+10	+5	0	-10	-20
		該当 評価 ☐ 機材の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。 ☐ 施工の各段階における完了時の試験及び記録の方法が、適切であることが確認できる。 ☐ 機材の品質確認記録の内容が、適切であることが確認できる。 ☐ 品質の確認結果が、分かりやすく整理されていることが確認できる。 ☐ 施工の品質が適切であり、設計図書を満足していることが確認できる。 ☐ 施工の品質が、試験や検査等の結果の記録により、優れていることが確認できる。 ☐ システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法が適切であり、設計図書を満足していることが確認できる。 ☐ システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法に工夫がある。 ☐ 不可視部分となる品質が、工事写真、施工記録により確認できる。 ☐ 中間技術検査や既済検査での工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。 ☐ 運転・点検上の表示及び危険箇所などの表示等が明確で解りやすい。 ☐ □ その他：_____	該当項目の内達成度が、 95%以上→A 70%以上 95%未満→B 50%以上 70%未満→C 50%未満→D ※該当項目が2項目以下の場合はC評価とする。			
工事比率：_____		工事比率の算出 当該工種金額 ÷ 請負工事金額 = % (請負金額_____ 当該工種金額_____ その他工種金額_____) 評価 当該工種評価該当率% × 工事比率% + その他工種評価該当率% × 工事比率% = %				

別表第 1 請負工事成績評定考査項目別採点基準運用表

3 でき形及び品質（営繕工事関係）

（検査員用 18 / 18）

項 細 目 別	工 種	A	B	C	D
3 でき形及び品質 ③出来ばえ	電気・機械工事	+10	+5	0	-10
該当 ☐ 評価 ☐きめ細かな施工がなされている。 ☐現場状況に応じた施工上の配慮がなされている。 ☐配管、機器等の収まりが良い。 ☐関連工事(工種)又は既存部分との調整がなされ、調和が良い仕上がりである。 ☐機器又はシステムをよく理解して施工している。 ☐環境負荷低減への対策が優れている。 ☐運転操作の容易さを確保するための配慮がなされている。 ☐保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。 ☐利用者の安全性への配慮がなされている。 ☐関連工事(工種)又は既存部分との調整がなされ、調和が良い仕上がりである。 ☐機器又はシステムをよく理解して施工している。 ☐環境負荷低減への対策が優れている。 ☐運転操作の容易さを確保するための配慮がなされている。 ☐保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。 ☐利用者の安全性への配慮がなされている。 ☐その他：_____					
該当項目の内達成度が、 95%以上→A 70%以上 95%未満→B 50%以上 70%未満→C 50%未満→D ※該当項目が2項目以下の場合はC評価とする。					
工事比率の算出 当該工種金額 ÷ 請負工事金額 = % (請負金額_____ 当該工種金額_____ その他工種金額_____) 評価 当該工種評価該当率% × 工事比率% + その他工種評価該当率% × 工事比率% = %					